英文法 L01 第 5 講 冠詞 a・an・the

学習目標

文脈の既知性と名詞の可算性に合う a・an・the を選ぶことができる。

1. 冠詞とは何か

冠詞の基本

冠詞とは、名詞の前に置き、その名詞がどのような対象を指しているかを示す語である。

英語の基本的な冠詞には、次の 3 つがある。

- **a**：聞き手にどれか分かるものとしては示さず、1 つ・1 人を取り上げる。
- **an**：a と同じ意味で、直後の音が母音で始まるときに使う。
- **the**：聞き手にもどの対象か分かるものを指す。

また、名詞の前に冠詞を置かない形を**無冠詞**という。

冠詞を選ぶときは、名詞が数えられるかだけでなく、話し手と聞き手がどの対象について話しているかを考える必要がある。

同じ犬でも冠詞が変わる理由

公園にいる同じ 2 人と、同じ犬 1 匹を描いた 2 コマの場面を考える。左では犬が立っており、右ではその犬が走っている。

I can see a dog.

「犬が 1 匹見える。」

The dog is running.

「その犬が走っている。」



図 1　同じ犬を話題に出し、その犬を指す場面

©ミライコーチング

図の左の場面に対応する英文では、話し手が犬の存在を相手に知らせ、その犬を話題へ導入している。ここでは、聞き手にどれか特定できるものとして示すのではなく、1 匹の犬を取り上げるため、**a dog** と表現している。

図の右の場面に対応する英文では、左の場面に対応する英文で話題にした同じ犬が走り出したことを伝えている。

直前に話題へ導入した同じ犬への再言及なので、話し手と聞き手の間で指す対象を特定できる。そのため、**the dog** と表現する。

ここで重要なのは、**犬そのものが変わったのではなく、会話の中で犬について共有されている情報が変わった**という点である。

2. a・an の使い方

不定冠詞 a・an

a・an を不定冠詞という。

基本的には、1 つ・1 人を取り上げる単数可算名詞の前に置く。話し手自身がどれか知っていても、聞き手にどれか分かるものとしては示さないときに a・an を使える。

単数可算名詞とは、1 つ、2 つと数えられる名詞の単数形である。

例えば、次のように使う。

- a book：1 冊の本
- a student：1 人の生徒
- an apple：1 個のリンゴ
- an egg：1 個の卵

a と an の意味は基本的に同じである。どちらを使うかは、直後に続く語の最初の音によって決まる。

a と an はつづりではなく音で決まる

冠詞	直後の音	例
a	子音で始まる	a book
a	子音で始まる	a university（1 つの大学）
an	母音で始まる	an apple
an	母音で始まる	an hour（1 時間）

母音は、息の流れを大きく妨げずに出す音である。**子音**は、息の通り道を狭めたり塞いだりするなどして出す音である。a・an の使い分けでは、文字ではなく実際の音に注目する。

注意すべきなのは、つづりと実際の発音が一致するとは限らないことである。

- **a university**：university は u で始まるが、最初の音は yes の y に相当する子音である。
- **an hour**：hour は h で始まるが、h を発音しないため、最初の音は母音である。

また、名詞の前に形容詞がある場合も、冠詞の直後の音で判断する。

- an old book（1 冊の古い本）：old の最初の音が母音
- a useful book（1 冊の役に立つ本）：useful の最初の音は yes の y に相当する子音

名詞そのものの頭文字だけを見て決めてはいけない。

単数可算名詞には限定する語が必要

通常の単数可算名詞を、冠詞などを付けずに単独で使うことはできない。

- I have a pen.（私はペンを 1 本持っている。）
- I have pen.（意図する意味：「私はペンを 1 本持っている。」／通常の用法では誤り。）

ただし、単数可算名詞に必ず a・an・the のいずれかが付くわけではない。

例えば、my pen（私のペン）や this pen（このペン）のように、所有や指示を表す語を使うこともできる。

また、話題に初めて登場する名詞でも、話し手と聞き手の状況によって対象が特定できるなら、the を使う場合がある。

したがって、「初めて出てきた名詞には必ず a・an を付ける」とは考えない。

3. the の使い方

定冠詞 the

the を定冠詞という。

話し手と聞き手の間で、どの対象を指しているか特定できる場合に使う。

代表的なのは、次の 2 つの場面である。

① すでに話題に登場した対象を指す場合

I found a bag. The bag was black.

「私はかばんを 1 つ見つけた。そのかばんは黒かった。」

最初の a bag は、聞き手にどのかばんか分かるものとしては示さず、1 つのかばんを話題に出している。

次の the bag は、直前に登場した同じかばんを指している。

② その場の状況から対象を特定できる場合

2 人が同じ部屋にいて、閉まっている窓を見ている。

Please open the window.

「その窓を開けてください。」

窓について初めて話していても、2 人がどの窓を指しているか分かるなら the を使える。

the は単数名詞だけに付くわけではない

the は、対象を特定できる場合、単数可算名詞だけでなく、複数可算名詞や不可算名詞にも使える。

名詞の種類	例	意味
単数可算名詞	the book	その本
複数可算名詞	the books	それらの本
不可算名詞	the water	その水

不可算名詞とは、通常は 1 つ、2 つと直接数えない名詞である。

例えば、water（水）や milk（牛乳）などがある。

the を使うかどうかは、名詞の数だけでは決まらない。

その名詞が指す対象を、文脈から特定できるかどうかも確認する。

4. 無冠詞の使い方

一般論を表す無冠詞

特定のものについてではなく、ある種類のもの全般について述べるときは、複数可算名詞や不可算名詞を無冠詞で使うことがある。

① 複数可算名詞で一般論を述べる

Dogs are friendly animals.

「犬は人なつこい動物だ。」

ここでの Dogs は、特定の何匹かの犬ではなく、犬という種類の動物全般を指している。

② 不可算名詞で一般論を述べる

Water is important for life.

「水は生命にとって重要だ。」

ここでの Water は、特定の容器に入った水ではなく、水という物質一般を指している。

冠詞を判断する 2 つの視点

冠詞の基本的な判断には、次の 2 つの視点がある。

視点 1：名詞の数え方を確認する。

- 単数可算名詞：通常、a・an・the などの限定する語が必要
- 複数可算名詞：一般論では無冠詞にできる
- 不可算名詞：物質一般などを表すときは無冠詞にできる

視点 2：聞き手にどのような対象として示すかを確認する。

- 聞き手にどれか分かるものとしては示さず、1 つ・1 人を取り上げる：単数可算名詞なら a・an
- 聞き手にもどの対象か特定できるものを指す：the
- 特定の対象ではなく種類・物質全般を述べる：複数可算名詞や不可算名詞なら無冠詞

ただし、これらは本講で扱う基本的な使い方である。冠詞にはほかの用法もあるため、すべての英文をこの分類だけで説明できるわけではない。

©ミライコーチング

5. 例題

1

次の状況に合うように、空所に入る最も適切な語を A〜D から 1 つ選べ。

父が今朝、傘を 1 本買ったことを初めて聞き手に伝える。どの傘かは共有されていない。

My father bought (　) umbrella this morning.

- A. a
- B. the
- C. 無冠詞
- D. an

解答・解説

正解：D

完成文

My father bought an umbrella this morning.

和訳

「私の父は今朝、傘を 1 本買った。」

判断の手順

まず、umbrella（傘）は数えられる名詞であり、ここでは単数形で使われている。

また、買った傘を聞き手にどれか分かるものとしては示さず、1 本の傘を取り上げているため、不定冠詞 a・an を使う。話し手自身がどの傘か知っていても、この使い方はできる。

次に、umbrella の最初の音を確認する。

umbrella は母音で始まるため、a ではなく an を選ぶ。

各選択肢の検討

- **A. a：誤り**。 umbrella は母音で始まるため、a ではなく an を使う。
- **B. the：誤り**。 この文脈では、聞き手がどの傘か特定できる情報は共有されていない。
- **C. 無冠詞：誤り**。 umbrella は単数可算名詞であり、この文では限定する語が必要である。
- **D. an：正しい**。 聞き手にどれか分かるものとしては示さず傘を 1 本取り上げており、直後の umbrella が母音で始まるため、an が適切である。

2

次の状況に合うように、空所に入る最も適切な語を A〜D から 1 つ選べ。

子どもがボールで遊ぶことを一般論として述べた後、男の子が指さした 1 個のボールについて説明している。最後の文は、その同じボールについて述べている。

Children often play with balls. A boy points to a ball. (　) ball is lying on the grass.

- A. a
- B. an
- C. the
- D. 無冠詞

解答・解説

正解：C

完成文

Children often play with balls. A boy points to a ball. The ball is lying on the grass.

和訳

「子どもたちはよくボールで遊ぶ。ある男の子が 1 個のボールを指さす。そのボールは芝生の上にある。」

判断の手順

最初の文の balls は、特定のボールではなく、ボールという種類のもの全般を指している。

このような一般論では、複数可算名詞を無冠詞で使える。

次の文では、a ball によって 1 個のボールが話題に登場する。

最後の文では、その同じボールについて説明している。

聞き手は直前の文からどのボールか分かるため、the ball とする。

各選択肢の検討

- **A. a：誤り**。 a ball は 1 個のボールを新たに話題へ取り上げる場合などに使えるが、ここでは直前に登場した同じボールを指している。
- **B. an：誤り**。 ball は子音で始まるため、an は使えない。
- **C. the：正しい**。 すでに話題に登場した特定のボールを指している。
- **D. 無冠詞：誤り**。 ball は単数可算名詞であり、この文では限定する語が必要である。

この例題では、一般論の balls と、特定の 1 個を指す the ball の違いが重要である。

6. 演習問題

1

次の状況に合うように、空所に入る最も適切な語を A〜D から 1 つ選べ。

聞き手がまだ知らない青いペンを 1 本買ったことを、初めて伝える。

I bought (　) blue pen after school.

- A. a
- B. an
- C. the
- D. 無冠詞

2

次の状況に合うように、空所に入る最も適切な語を A〜D から 1 つ選べ。

庭で古い硬貨を 1 枚見つけたことを初めて話す。聞き手はその硬貨についてまだ知らない。

I found (　) old coin in the garden.

- A. a
- B. an
- C. the
- D. 無冠詞

3

次の状況に合うように、空所に入る最も適切な語を A〜D から 1 つ選べ。

彼女が宿題を終えるまでに必要な時間の長さを「1 時間」と表す。特定の時間帯を指しているわけではない。

She needs (　) hour to finish her homework.

- A. a
- B. the
- C. an
- D. 無冠詞

4

次の状況に合うように、空所に入る最も適切な語を A〜D から 1 つ選べ。

学校で使う便利な辞書を 1 冊買ったことを初めて伝える。どの辞書かは聞き手に共有されていない。

I bought (　) useful dictionary for school.

- A. an
- B. the
- C. 無冠詞
- D. a

5

次の状況に合うように、空所に入る最も適切な語を A〜D から 1 つ選べ。

昼食のときに鍵を 1 つ見つけた。その同じ鍵が椅子の下にあったことを説明する。

At lunch, I found a key. (　) key was under my chair.

- A. a
- B. the
- C. an
- D. 無冠詞

©ミライコーチング

6

次の状況に合うように、空所に入る最も適切な語を A〜D から 1 つ選べ。

2 人が壁にある同じ 1 枚の絵を指さしている。その絵に描かれているものを説明する。

(　) painting shows a quiet river.

- A. a
- B. 無冠詞
- C. an
- D. the

7

次の状況に合う英文として、A〜D から正しいものを 1 つ選べ。

特定の鳥の集団ではなく、鳥という種類の動物全般について一般的な性質を述べる。

- A. Birds build nests in many different places.
- B. A birds build nests in many different places.
- C. The birds build nests in many different places.
- D. An birds build nests in many different places.

8

次の状況に合う英文として、A〜D から正しいものを 1 つ選べ。

特定の容器に入った水ではなく、水という物質一般の重要性を述べる。

- A. The water is necessary for all living things.
- B. An water is necessary for all living things.
- C. Water is necessary for all living things.
- D. A water is necessary for all living things.

7. 演習問題の解答・解説

1

正解：A

完成文

I bought a blue pen after school.

和訳

「私は放課後、青いペンを 1 本買った。」

判断の決め手

pen は単数可算名詞であり、聞き手にどれか分かるものとしては示さず、1 本のペンを取り上げている。

さらに、冠詞の直後にある blue は子音で始まるため、a を使う。

各選択肢の検討

- **A. a：正しい**。 単数可算名詞 pen を 1 本取り上げており、直後の blue が子音で始まる。
- **B. an：誤り**。 blue の最初の音は子音なので、an は使えない。
- **C. the：誤り**。 この文脈では、聞き手がどのペンかを特定できない。
- **D. 無冠詞：誤り**。 pen は単数可算名詞であり、この文では限定する語が必要である。

2

正解：B

完成文

I found an old coin in the garden.

和訳

「私は庭で古い硬貨を 1 枚見つけた。」

判断の決め手

coin は単数可算名詞で、聞き手にどれか分かる硬貨としては示さず、1 枚を取り上げている。

冠詞の直後にある old は母音で始まるため、an を使う。

各選択肢の検討

- **A. a：誤り**。 old は母音で始まるため、a ではなく an を使う。
- **B. an：正しい**。 硬貨を 1 枚取り上げており、聞き手にどれか分かるものとしては示していない。直後の old は母音で始まる。
- **C. the：誤り**。 この文脈では、聞き手に特定の硬貨が共有されていない。
- **D. 無冠詞：誤り**。 coin は単数可算名詞であり、この文では限定する語が必要である。

3

正解：C

完成文

She needs an hour to finish her homework.

和訳

「彼女は宿題を終えるのに 1 時間必要だ。」

判断の決め手

hour は時間の長さを表す数えられる名詞であり、ここでは 1 時間を表している。

hour の h は発音されず、最初の音が母音になるため、an を使う。

各選択肢の検討

- **A. a：誤り**。 hour はつづりでは h で始まるが、発音は母音で始まる。
- **B. the：誤り**。 この文では特定の 1 時間を指すのではなく、必要な時間の長さを表している。
- **C. an：正しい**。 hour の最初の音が母音であり、1 時間という長さを表す。
- **D. 無冠詞：誤り**。 hour はここでは単数可算名詞として使われており、限定する語が必要である。

4

正解：D

完成文

I bought a useful dictionary for school.

和訳

「私は学校で使うために便利な辞書を 1 冊買った。」

判断の決め手

dictionary は単数可算名詞であり、聞き手にどれか分かる辞書としては示さず、1 冊を取り上げている。

useful は u で始まるが、最初の音は yes の y に相当する子音である。

したがって、an ではなく a を使う。

各選択肢の検討

- **A. an：誤り。** useful はつづりでは u で始まるが、発音は yes の y に相当する子音で始まる。
- **B. the：誤り。** この文脈では、どの辞書か聞き手に共有されていない。
- **C. 無冠詞：誤り。** dictionary は単数可算名詞であり、この文では限定する語が必要である。
- **D. a：正しい。** 聞き手にどれか分かるものとしては示さず辞書を 1 冊取り上げており、直後の useful が子音で始まる。

5

正解：B

完成文

At lunch, I found a key. The key was under my chair.

和訳

「昼食のとき、私は鍵を 1 つ見つけた。その鍵は私の椅子の下にあった。」

判断の決め手

最初の文で a key によって鍵が話題に登場している。

次の文では、その同じ鍵について説明しているため、the key を使う。

各選択肢の検討

- **A. a：誤り。** a key は鍵を 1 つ新たに取り上げる場合などに使えるが、ここでは直前に登場した同じ鍵を指している。
- **B. the：正しい。** すでに話題に登場し、聞き手にも特定できる鍵を指している。
- **C. an：誤り。** key は子音で始まるため、an は使えない。
- **D. 無冠詞：誤り。** key は単数可算名詞であり、この文では限定する語が必要である。

6

正解：D

完成文

The painting shows a quiet river.

和訳

「その絵には静かな川が描かれている。」

判断の決め手

2 人は同じ 1 枚の絵を指さしている。

その場の状況から、話し手と聞き手の間でどの絵を指しているか共有されている。

そのため、英文で初めてその絵に言及する場合でも the を使う。the を選ぶ根拠は、英文中で先に登場したことではなく、その場で対象を特定できることである。

各選択肢の検討

- **A. a：誤り**。 この文脈では、どの絵か分からない状態ではなく、同じ 1 枚の絵を共有している。
- **B. 無冠詞：誤り**。 painting は単数可算名詞であり、この文では限定する語が必要である。
- **C. an：誤り**。 painting は子音で始まるため、an は使えない。
- **D. the：正しい**。 2 人が同じ絵を指しており、その対象を特定できる。

7

正解：A

正しい英文

Birds build nests in many different places.

和訳

「鳥はさまざまな場所に巣を作る。」

判断の決め手

Birds は複数可算名詞である。

ここでは特定の鳥たちではなく、鳥という種類の動物全般について述べている。

このような一般論では、複数可算名詞を無冠詞で使える。

各選択肢の検討

- **A：正しい**。 Birds は複数可算名詞であり、鳥全般について一般論を述べているため、無冠詞が適切である。
- **B：誤り**。 A birds では複数形の birds に単数可算名詞用の a を付けている。
- **C：誤り**。 The birds は特定の鳥の集団を指す読みになり、特定の集団ではなく鳥全般を述べる指定文脈に合わない。
- **D：誤り**。 An birds では複数形の birds に単数可算名詞用の an を付けている。

8

正解：C

正しい英文

Water is necessary for all living things.

和訳

「水はすべての生物にとって必要だ。」

判断の決め手

water は、この文では不可算名詞として使われている。

また、特定の水ではなく、水という物質一般について述べている。

そのため、冠詞を付けずに Water とする。

各選択肢の検討

- **A：誤り**。 The water は特定の水を指す場合に使えるが、この設問では水という物質一般について述べているため、the は付けない。
- **B：誤り**。 An water では、物質一般を表す不可算名詞 water に不定冠詞 an を付けているため不適切である。
- **C：正しい**。 Water を不可算名詞として用い、水という物質一般について述べているため、無冠詞が適切である。
- **D：誤り**。 A water では、物質一般を表す不可算名詞 water に不定冠詞 a を付けているため不適切である。